

令和5年度 栃木西部地域地域予算事業の実施報告

<まちづくり塾開催事業>

令和5年12月から令和6年2月にかけて、地域の課題解決に取り組むにあたり、解決に向けての知識や手法を学ぶための講演会を開催し、幅広い世代の多くの住民の方にご参加いただきました。

今年度は「栃木西部地域の環境保全と子ども達の未来を考える」を大きなテーマとした全3回の講座を開催し、のべ154名の参加がありました。

<第1回>

「子どもたちが遊べる自然環境を守るために

～ヤマビル・マダニはなぜ増えている？」

（同時開催）小中学生向け企画「小さな箒（ほうき）を手づくりしよう」

日にち：令和5年12月23日（土）

場 所：寺尾公民館（参加者：87名）

講 師：作新学院大学女子短期大学部 幼児教育科 講師 森嶋佳織さん
栃木農業高校 農業環境部 地域デザイン班のみなさん



自然豊かな栃木西部地域においても、シカやイノシシが増加するとともにマダニやヤマビルが増えてきていることから、それらの生態や分布・対策について学ぶことで、子どもたちが安心して遊べる自然環境を守るためにどうすればよいかを考えました。

小中学生向けの企画では栃木農業高校の生徒の協力のもと、昔は栃木西部地域で栽培されていたホウキモロコシを使用した箒づくりをおこないました。ものづくりを通し、多くの世代が交流する場となりました。



<第2回>

「流域治水と減災 ～気候変動・豪雨多発時代の治水と環境保全を流域で考える」

日にち：令和6年1月27日（土）

場 所：吹上公民館（参加者：36名）

講 師：宇都宮大学 地域デザイン科学部 社会基盤デザイン学科 教授 池田裕一さん
宇都宮大学 地域デザインセンター コーディネーター 土崎雄祐さん

豪雨災害を減らすためには、森林や農地、庭や公園等の保全・活用が効果的であることから、川の流域全体での治水を考えるため、上流部にある栃木西部地域の環境の大切さを学びました。参加者は過去に地域内で起こった水害のデータを踏まえ、地域で何が実践できるかについて、活発な意見交換がおこなわれました。

<第3回>

「廃校活用のトレンドを知ろう！ ～中山間地域の廃校活用事例から」

日にち：令和6年2月17日（土）

場 所：皆川公民館（参加者：31名）

講 師：一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構（まちむら交流きこう）
業務第1部 審議役 兼グリーン・ツーリズムチーム 畠山 徹さん



栃木西部地域内の中学校は令和8年3月をもって閉校となり、令和8年4月からは現在の吹上中学校の位置に栃木市立栃木北中学校が開校となります。この回では、この地域課題解決に向けてのヒントとするため、まちむら交流機構の畠山先生を講師にお招きし、廃校活用の全国的な動向や活用事例を学びました。

令和5年度 栃木西部地域予算提案事業

<サイクルステーション整備事業>

自転車競技やロードバイクが普及し、また、昨今の健康志向により、最近では地域内で自転車に乗る方を多く見かけるようになりました。

こうした方をサポートするため、休息等での利用が多い場所にロードバイクスタンド及び空気入れを設置し、拠点づくりとして活用しています。あわせて、地域内のパンフレットを設置していただくなど、地域内の滞留時間の確保や回遊性を高め地域の魅力を発信させていきます。

これまでに、コンビニや飲食店等に設置しました。また、イベント時にも使えるように公民館にも配置しています。



地域内に設置されたロードバイクスタンド



各公民館の図書コーナーに資料を設置しています
(写真は皆川公民館)

<西部地域関連資料購入事業>

地域の歴史やその他地域に関する書籍を購入し、各公民館の図書コーナーに設置しました。

栃木西部地域についての記述がある複数の書籍を購入しました。中世から戦国時代、江戸時代の歴史に関わるものが中心ではありますが、明治維新からの歴史や芥川賞候補作品の「皆のあらばしり」もあります。

皆さんに地域の歴史に興味を抱いていただき、郷土への誇りや愛着心の醸成に繋がっていくことを期待しています。そして次世代の人にも繋げていきたいと思えます。

ぜひ公民館に来ていただき、手にとってお読みください。



<防災倉庫備品購入事業>

カート式の災害救助工具セットを吹上公民館の防災倉庫内に設置しました。

バールやつるはし、油圧ジャッキなどの災害救助用の工具がひとつのカートにまとめられたものです。

防災資機材が充実することにより、地域の救出・救助能力が向上することから、災害が発生した場合でも、素早い初動対応により被害を最小限に食い止めることが期待されます。

カート式の災害救助工具セットを設置

令和5年度 栃木西部地域予算提案事業

＜吹上かるた新入生贈呈事業＞

「吹上かるた」は遊びを通し、郷土の歴史に触れ、郷土への理解を深め、郷土愛を育成することを目的として、吹上地区まちづくり協議会 歴史ロマン委員会の監修によって作られ、吹上地区内の全児童に配付されました。

今後、趣旨に沿った更なる事業展開のため、令和5年12月に新入生配付用として500組を増刷しました。

今年度は吹上小学校と千塚小学校の1年生に配付したところ、大変喜んでいただけたようです。

次年度以降も吹上地区内の新入生を対象として毎年継続的に配付をする予定です。



吹上かるたをプレゼント



吹上かるた



寺尾かるた

＜寺尾かるた作成事業＞

寺尾かるたは、昭和60年に子どもたちから読み札を募集して作成されたもので、寺尾地区内の全児童生徒に配付し、かるた遊びを通して寺尾のふるさと学習に活用してきました。

しかし、在庫が僅かとなってきていることから、引き続き寺尾かるたを学校や地域行事等で活用し、寺尾地区の文化・歴史・生活様式等を再認識するとともに、世代間や地域内交流を図っていくため、250組を増刷して寺尾小学校に届けました。

今後も毎年、新入生に対して寺尾かるたが配付されていきます。

＜寺尾公民館憩いの場創出事業＞

寺尾地区内には、幼児や小学生たちが保護者等と気軽に立ち寄って憩える場所がありません。

そこで、寺尾公民館に憩いの場を設置するため、幼児向けの絵本やお絵描き帳、昔の遊び道具等を購入しました。

今後、公民館内に憩いの場となるスペースを確保し、絵本や昔の遊び道具等を備え付けて、皆様が気軽に公民館に立ち寄れる場所を創出し、公民館がより身近な施設となるようにしていきます。



寺尾公民館に設置します

※今年度は「皆川地域案内看板設置事業」も実施する予定となっておりますが、実施時期の都合により、次号以降に掲載いたします。

令和6年度実施分栃木市地域予算事業計画書を提出しました

令和5年10月6日（金）、栃木市役所において、令和6年度実施分 地域予算事業計画書の提出が行われました。

栃木西部地域会議からは酒巻幸夫会長が出席し、大川秀子市長に計画書を提出しました。

今回は令和6年度実施分の事業として「まちづくり塾開催事業」の1事業を提案いたしました。



計画書を大川市長（写真右）に提出する酒巻会長（写真左）

No	事業名	事業の概要
1	まちづくり塾開催事業	地域の課題を地域全体で解決するため、栃木西部熟くり塾（まちづくり塾）を連続講座として開催する。

令和6年度の栃木西部地域会議の開催予定は以下のとおりです。

開催日時	開会時間	会場
4月16日（火）	午後7時	皆川公民館
5月14日（火）	午後7時	吹上公民館
6月18日（火）	午後7時	寺尾公民館
7月16日（火）	午後7時	皆川公民館
9月17日（火）	午後7時	吹上公民館

開催日時	開会時間	会場
10月15日（火）	午後7時	寺尾公民館
11月19日（火）	午後6時30分	皆川公民館
2月18日（火）	午後6時30分	吹上公民館
3月18日（火）	午後7時	寺尾公民館

- ◆地域会議は傍聴できますので、ご希望の方は開始時間までに会場へお越しください。
なお、会議は内容により非公開になる場合があります。
- ◆会議の情報は栃木市のホームページからもお覧いただけます。

栃木西部地域会議だより（第17号）

令和6年3月19日発行

発行：栃木西部地域まちづくりセンター（吹上公民館内）
〒328-0125 栃木市吹上町782番地1
電話：0282-31-1792/FAX：0282-30-1465
E-mail：fukiage-k@city.tochigi.lg.jp

